

相武台地区市民レクリエーション大会を開催

絶好の秋晴れの中、「身体を動かすことでコロナ禍のストレスを発散し、会員相互の親睦を図るふれあいの場づくり」を目的に、相武台地区自治会連合による市民レクリエーション大会を10月24日（日）相武台東小学校校庭で開催しました。

今年も、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、コロナに負けない安全対策を随所に盛り込んでの開催となりました。

次々と集まる参加者は列に間隔を取り、受付で体温測定、手指の消毒、名簿に記入して参加者登録をしていただきました。

開会宣言のあと、来賓者代表として「佐藤市長」の挨拶では『長期にわたる感染症の影響により、各団体が行事を見合わせる中、このような連合による地域ぐるみの繋つなかりを深めることは実に素晴らしいことです』と、力を込めてのご祝辞をいただきました。

やがて、実行委員より感染症防止に対する競技上の注意説明を受けてから、いよいよお待ちかねの競技開始となりました。

受付や競技中も消毒を!!



全レースにチャレンジ

① 缶釣りレース



釣り竿を握り、糸先の針を缶の口に入れて釣り上げるのが難しいのか、手間取る人も多く見受けられました。また、スタッフは競技毎に殺菌タオルで入念に消毒を行ない大忙しでした。なお、缶の中に砂が入っているのを発見！これは裏技なのでしょう？

② スプーンレース



選手たちはスプーンにボールを乗せてカラーコーンを周回するのが上手でしたが、お母さんがレースに夢中になり子どもを置き去りにする場面も見かけました。ここでもスタッフが手早くアルコール消毒を行いました。

③ パン食いレース



例年大人気のレースですが、感染症対策として小さな子どもやお年寄りにも配慮し手で取るようにルールを変更しました。こうした中、他のレーンに入り込み、お目当てのパンを探す参加者もいましたが、混乱もなく競技がスムーズに楽しく進行できました。

④ 民謡踊り



婦人会を中心とした自由参加の民謡踊りで、感染対策のため間隔を広くとったことにより校庭いっぱいになり二重の輪となって、座間音頭や炭坑節など2回ずつ踊りました。そんな中、来賓として見えられた県会議員らも輪の中に混じり踊って楽しんでいただきました。

なお、各レースに出場した参加者にはもちろん小池地区の新鮮野菜セットや民謡踊りの参加賞としてお茶が配られ、半日間の市民レクリエーション大会は大盛況のうちに閉会となりました。

自由参加の民謡踊り

第7回 ★防災ミニ情報～備えあれば憂いなし★

断水時に給水車が近所まで来てくれることはまずありません。市内の小中学校に設置してある（中原小学校を除く）災害用貯水タンクまで水をもらいに行くためにキャリーカートも用意しておきましょう。